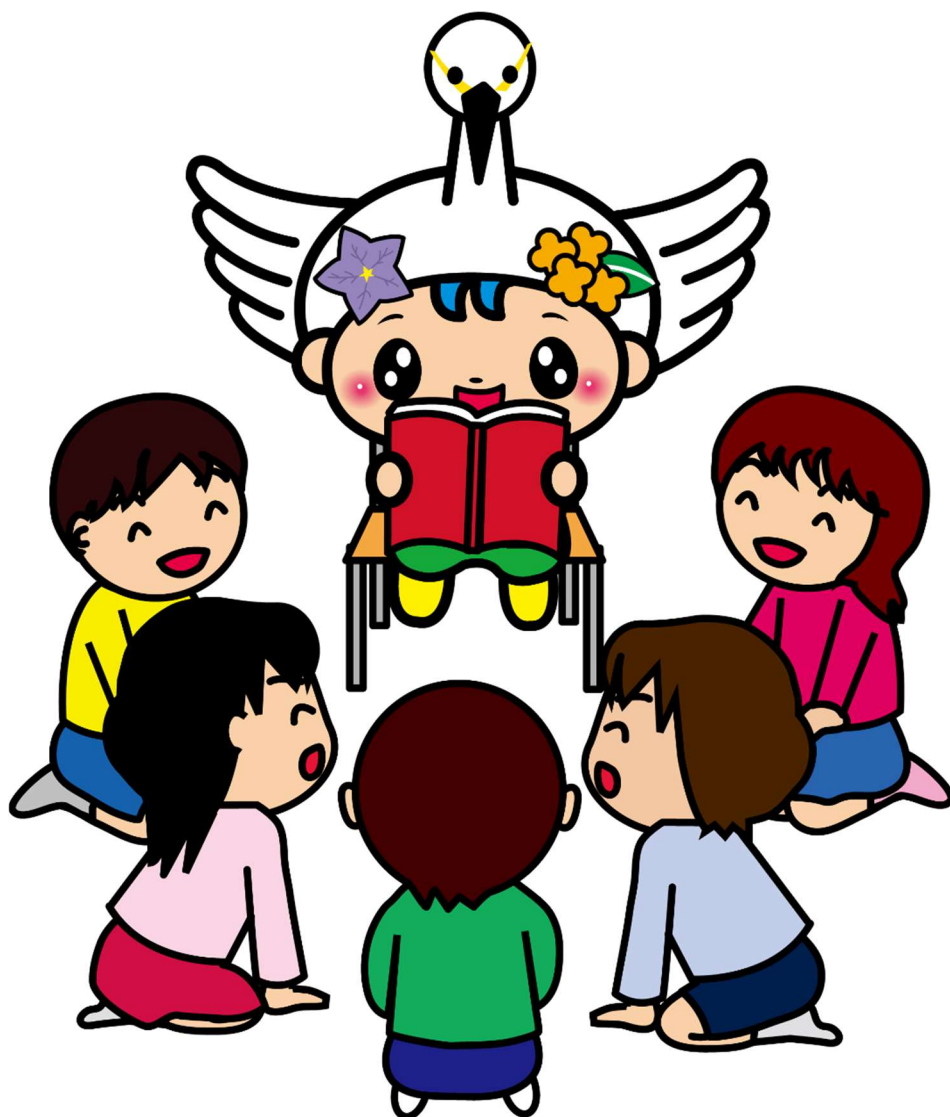


第二次中井町子ども読書活動推進計画



令和6年3月

中井町教育委員会

第二次中井町子ども読書活動推進計画

目次

第1章 第二次中井町子ども読書活動推進計画策定の基本的な考え方・・・・・・・・・・	1
1 子どもの読書活動の意義	
2 計画の目的	
3 計画の基本的方針	
4 計画の期間	
5 計画期間内の達成目標	
第2章 子どもの読書活動推進のための具体的な方策・・・・・・・・・・	3
1 家庭・学校・地域等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進	
2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	
第3章 計画の推進体制・・・・・・・・・・	8
1 連携体制の整備	
2 関係機関との連携・協力	
3 むすび	
資料1 子どもの読書活動の実態と課題	
資料2 用語解説	

第1章 第二次中井町子ども読書活動推進計画策定の基本的な考え方

1 子どもの読書活動の意義

子どもにとって読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、社会全体でその推進を図っていく必要があります。

次代を担う子どもたちがかけがえのない一冊の本と出会い、豊かな人間性と確かな生きる力を身につけることを願い、そして生涯にわたって豊かな人生を送ることができるよう子どもの読書活動の現状と課題を踏まえながら計画的な推進を図る必要があります。

子どもの読書活動の一層の推進を図るため、成長に応じて読書に親しみ、楽しめる体験をつくるなど、読書活動が日常習慣となるような取り組みが必要です。また、子どもが自主的な読書活動を習慣づけるには、家庭、学校、地域等の連携した取り組みが求められています。



【民生委員児童委員による
読み聞かせの様子】



【NPOブックスタートの冊子
アドバイスブックレット】

2 計画の目的

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条に基づき策定するものです。国・県の基本計画を踏まえ、第六次中井町総合計画との整合性を図り、子どもがその成長に応じて家庭、学校、地域等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進や読書環境の整備など、「子どもの読書活動」を推進するための基本的な考えや方策を示したものです。

3 計画の基本方針

中井町のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、学校、地域等との連携を進め、積極的に読書環境の整備を図ります。

4 計画の期間

この計画の期間は、令和6年度から令和15年度までの10年間とします。なお、この計画の推進状況については中井町読書活動推進会議に報告し、その意見等を踏まえて計画の効果的な推進に努めます。

5 計画期間内の達成目標

	現状（2022年）	10年後（2032年）
「読書が好き」な児童（小学5年生）	92%	97%
「読書が好き」な生徒（中学2年生）	84%	89%

第2章 子どもの読書活動推進のための具体的な方策

1 家庭・学校・地域等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

子どもが自主的に読書活動を行うようになるためには、乳幼児期から保護者とともに読書に親しむことが大切です。また、日常生活におけるいろいろな場面において子どもが本と接する機会を多く得られれば、子どもは読書に興味をもち、読書は生活の一部となります。

日ごろから子どもが読書に親しむことができるよう、家庭、学校、地域等が連携し読書活動を推進します。

(1) 家庭における子どもの読書習慣の定着に向けた取り組み

- * 保護者による絵本や物語を読み聞かせてあげましょう
- * 本棚の設置や子どもの近くに本を置くようにしましょう
- * 7か月児健康診査時に「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ」体験をしましょう
- * 家族で町の図書室に行って本を選んだり、読み聞かせ会に参加しましょう
- * 時間や日を決めて家族全員が読書をしたり、読んだ本について話し合しましょう
- * 工作や料理の本を親子で一緒に読んで実際につくってみるなど体験に結びつけましょう
- * 保護者自身が読書に親しむようにしましょう



(2) こども園や保育園・学校における読書活動や学習活動の推進のための取り組み例

- * 毎月1回、3～5歳児を対象とした「絵本の日」に好きな本を1冊家に持ち帰れる（こども園）
- * 年齢や季節に合った絵本を展示する絵本コーナーの設置（こども園）
- * 各保育室で自由に自分の好きな本が読める絵本コーナーの設置（こども園）
- * 読書活動推進員による絵本の配置・修善（こども園）
- * 小・中学生とこども園や保育園が連携し、読書活動推進を通じた交流（こども園、保育園、小・中学校）
- * 教員や保育士、保育教諭、学校司書によるおススメ本の紹介など多様な本と出会う機会の創出（こども園、保育園、小・中学校）
- * 図書委員会が中心となって低学年への大型絵本による読み聞かせ（中村小）
- * 借りた本の数だけシールを貼る読書すごろく（中村小）
- * 目につきやすい展示方法、教室お便りや校内放送による新刊アナウンス（中井中）
- * 読書習慣を身に付けるための「机の中に、いつも1 Book」（井ノ口小）
- * 読み聞かせボランティアによる朝の読書（中村小、井ノ口小）
- * 図書整理ボランティアによる書架の整理、本の修善、環境整備（中村小、井ノ口小）
- * 保護者やボランティア、学校司書等との連携による読書活動
- * 図書委員会等による児童・生徒の自主的な読書活動（小・中学校）
- * 読書感想文コンクールやビブリオバトル等の実施（小・中学校）
- * 学校だより、学級通信、校内掲示などを活用した読書活動の啓発（小・中学校）
- * 学校図書室を活用した情報活用能力を育成する活動（小・中学校）
- * 学校図書室を活用した各教科等における児童・生徒の主体的・意欲的な学習活動（小・中学校）
- * P T A等における子どもの読書活動に関する研修や情報共有（小・中学校）



【図書整理ボランティアによる環境整備
（中村小）】



【4・5歳児の月刊誌を紹介する絵本コーナー
（こども園）】

(3) 町立図書室、関係機関における読書活動の推進や学校等の読書活動の支援

- * ブックスタート事業の実施（健康課）
- * 民生委員児童委員による絵本の読み聞かせ（健康課）
- * 子育て支援センターにおける保育士による絵本の読み聞かせ（福祉課）
- * 放課後児童クラブにおける読書活動の実施（教育委員会）
- * 「子ども読書の日」や「読書週間」における読書活動推進標語・ポスターコンクールの表彰（教育委員会）
- * 子どもの読書活動に関するボランティア活動の場の提供やボランティアに対する研修（教育委員会）
- * 絵本専門士による「絵本の読み聞かせ講座」の実施（教育委員会）
- * 推薦図書の選定（教育委員会）
- * 新着図書、季節の絵本、その他テーマ別企画展示（町立図書室）
- * 広報なかい「今月のおすすめ図書」による紹介（町立図書室）
- * 読書手帳の配布（町立図書室）
- * 本のかしだし福袋（町立図書室）
- * 多くの保護者が集まる機会を活用した読み聞かせに関する講座等の実施（町立図書室）
- * 読み聞かせ会、図書室まつり、司書体験等の事業の実施（町立図書室）
- * 図書館司書等の訪問による児童・生徒への読み聞かせや読書活動に関わる学校行事等の支援（町立図書室）
- * 学校図書室運営に関わる相談（町立図書室）
- * 学校図書室での調べ学習や展示、学級文庫等への図書館資料の貸し出し等による読書活動支援（学校司書、町立図書室）



【本のかしだし福袋】



【こども司書体験】

2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

子どもは数多くの良書とめぐり合うことにより言語能力、表現力のみならず、感性、創造力を高めます。また、習慣化された子どもの読書は読書意欲をさらに高め、新たな知識追及への相乗効果となります。子どもがたくさんの本に触れ、読書の喜び、楽しさ、奥深さを知ることができるよう読書環境の整備、充実に努めます。

(1) 学校図書室等における読書環境の整備

- * 学校司書配置の充実（教育委員会）
- * 読書活動推進員の連携強化と情報共有（教育委員会）
- * 保護者やボランティアとの連携による絵本コーナー等の整備（こども園）
- * 学校図書館図書標準の達成に向けた図書の整備（小・中学校）
- * 学校における教育課程の展開に寄与し、児童生徒の学習活動や健全な教養・レクリエーションに役立つ図書室資料の選定・廃棄・更新（小・中学校）
- * 障がいのある児童生徒の状況に応じた機器及び資料の整備（小・中学校）
- * 様々な言語で書かれた図書資料の受け入れ（小・中学校）
- * 日本十進分類法を原則とする図書室資料の整理、配架（小・中学校）
- * 推薦図書コーナーの設置（小・中学校）
- * 児童・生徒が気軽に利用することのできる校内図書環境整備の工夫（小・中学校）



【読み聞かせボランティアによる読み聞かせ（中村小）】



【図書室の様子（井ノ口小）】

(2) 地域における読書環境の整備

- *ブックスタート事業の継続（健康課）
- *図書室だよりの発行（町立図書室）
- *本のかしだし福袋のバージョンアップ（町立図書室）
- *「子ども読書の日」のコンテンツの充実（町立図書室）
- *農村環境改善センター図書室、公民館図書室における読書活動推進となる資料の整備（町立図書室）
- *日本語が苦手な外国籍の人に対するやさしい図書室づくり（町立図書室）
- *公立図書館の横断検索・相互貸借システムの活用・周知（町立図書室）
- *SNS を活用した図書情報に係る積極的な情報発信（町立図書室）
- *図書館司書の増員（教育委員会）
- *休日・夜間などのレファレンスサービスの向上（教育委員会）
- *点字資料や映像資料の提供など障がいのある子どもに対する諸条件の整備（教育委員会）
- *公民館図書室、学校図書室の担当職員等を対象とする研修の積極的参加（教育委員会）
- *電子書籍の導入検討（教育委員会）



【農村環境改善センター図書室内の様子】



【井ノ口公民館図書室の様子】

第3章 計画の推進体制

1 連携体制の整備

本計画の推進にあたり、家庭、こども園、学校、地域等（図書室、保健福祉センター、子育て支援センター等）が連携・協力を図るため、関係者からなる「中井町子ども読書活動推進会議」を設置し、必要に応じて推進会議を開き、総合的な推進体制が整備されるように努めます。

2 関係機関との連携・協力

子どもの読書活動を一層推進していくためには、家庭、学校、地域等がそれぞれの役割を果たしつつ、連携・協力していくことが重要です。このため関係者が情報交換等や様々な相談を行います。

3 むすび

すべての子どもがあらゆる機会と場所において、自主的に読書活動を行うことができる環境をつくるため、本計画を積極的に推進し、「読書のまち、中井」をめざします。

資料 1. 子どもの読書活動の実態と課題

(1) アンケート調査の概要

○ 調査の目的

町内の子どもの読書に関する現状を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施

○ 調査対象

- ・ 町立小学校の5年生の児童（65人）、町立中学校の2年生の生徒（85人）
- ・ 町立小学校の5年生の児童の保護者（52人）、町立中学校の2年生の生徒の保護者（80人）

○ 調査月・調査方法

令和4年11月、各学校にて（保護者は家庭において）、アンケート用紙を配付・回収

(2) アンケート結果のおもなものの

児童・生徒

①あなたは本を読むことが好きですか

	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い
小学5年生	43%	49%	5%	3%
中学2年生	54%	30%	9%	7%

「あなたは本を読むことが好きですか」という設問に対して、読書が「好き」「どちらかという好き」と回答した子どもたちの割合が、小学生は92%、中学生は84%でした。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の児童・生徒質問紙の全国の肯定的な回答割合(小学生72%、中学生66%)に比べて、小・中学生ともに高い傾向にあると分かりました。

②あなたは1か月に何冊くらい本を読みますか

	10冊以上	6～9冊	3～5冊	1～2冊	0冊	無回答
小学5年生	22%	19%	26%	31%	1%	1%
中学2年生	21%	8%	24%	29%	18%	0%

「あなたは1か月に何冊くらい本を読みますか」という設問では、小学生、中学生ともに「1～2冊」の割合が最も高くなっています。3冊以上読む小学生は67%、中学生は53%と半数以上が月に3冊以上本を読むと回答しています。

③0冊だった人に聞きます。本を読まなかったのはどうしてですか

	本を読む時間がない	読みたい本がない	読みたい本が分からない	本を読むことが苦手、嫌い	その他
小学5年生	0%	100%	0%	100%	0%
中学2年生	20%	60%	7%	40%	20%

「本を読まなかった理由」への回答を見ると、小学生は「読みたい本がない」「本を読むことが苦手、嫌い」という回答であり、中学生は「本を読むことが嫌い」の割合が60%となっています。

④あなたが今まで読んだ本で、心に残っている本は何冊ありますか

	1～3冊	4～6冊	7冊以上	ない	無回答
小学5年生	34%	28%	32%	5%	1%
中学2年生	43%	26%	25%	6%	0%

「あなたが今まで読んだ本で、心に残っている本は何冊ありますか」という設問では、小・中学生ともに「1～3冊」が最も高い割合ですが、「4～6冊」「7冊以上」を合わせると50%を超えています。

⑤どうしたら多くの方が本を読むようになると思いますか

	小学5年生	中学2年生
小さいころに読み聞かせをしてもらう	40%	44%
小さいころから図書室や本屋などに行く	34%	46%
家族で本に親しむようにする	22%	24%
学校で決まった読書の時間がある	51%	38%
学校の図書室を利用しやすくする	34%	24%
おはなし会などに参加する	8%	5%
図書ボランティアに学校へ来てもらう	23%	21%
図書委員会からの本の紹介など	49%	21%
町図書室など公共施設の利用時間や利用日を増やす	26%	14%
その他	2%	6%
無回答	2%	1%

「本を読むようになる理由」という設問への回答は小学生が「学校で決まった読書の時間がある」、中学生が「小さいことから図書室や本屋などに行く」が最も高い割合となり、小・中学生ともに読書環境を整えることが有効であると考えています。

保護者

①あなた（保護者）のお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか

	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い
小学5年生の保護者	25%	59%	14%	2%
中学2年生の保護者	30%	38%	21%	11%

子どもが本を読むことが「好き」「どちらかという好き」と答えた保護者は、小学生の保護者で84%、中学生の保護者で68%となりました。いずれも高い割合ですが、子どもたち自身が回答した結果に比べると低い割合となっています。

②あなた（保護者）は本を読むことが好きですか

	好き	どちらかという好き	どちらでもない	どちらかという嫌い	嫌い
小学5年生の保護者	29%	31%	18%	12%	10%
中学2年生の保護者	36%	34%	26%	3%	1%

本を読むことが「好き」「どちらかという好き」と答えた保護者は、小学生の保護者で60%、中学生の保護者で70%となり、いずれも半数を超える結果となりました。

③あなた（保護者）はお子さんに、家庭で「読み聞かせ」をしていましたか

	よくしていた	時々していた	ほとんどしていない	していない	無回答
小学5年生の保護者	35%	35%	20%	10%	0%
中学2年生の保護者	24%	36%	23%	16%	1%

「あなたは本の読み聞かせをしていたか」という設問に対して「よくしていた」、「ときどきしていた」と回答した保護者は、小学生の保護者で70%、中学生の保護者で60%でした。

④ご家庭では、お子さんの身近なところに本が置いてありますか

	本を置いてある	本を置いていない
小学5年生の保護者	98%	2%
中学2年生の保護者	85%	15%

「ご家庭では、お子さんの身近なところに本が置いてありますか」という設問では、小・中学生ほとんどの過程で本が身近なところにあることが分かりました。

⑤家庭での自由時間に、お子さんは何をすることが多いですか

	小学5年生の保護者	中学2年生の保護者
外で遊ぶ	50%	23%
テレビ（ビデオ）や動画を見る	83%	80%
ゲーム機で遊ぶ	75%	59%
インターネットやスマートフォンなどを利用する(動画)以外	35%	70%
本を読む	29%	23%
勉強をする	21%	29%
マンガを読む	63%	39%
家事の手伝い	23%	23%
その他	10%	4%

家庭の自由時間には、「テレビ（ビデオ）や動画を見る」ことが小・中学生共通で最も多い回答でした。次に、小学生は、「ゲーム機で遊ぶ」、中学生は「インターネットやスマートフォンなどを利用する（動画）以外」が多い回答でした。テレビ・ゲーム機・スマートフォンを占める割合が多いのは予想されたことですが、外で遊ぶ児童の割合よりもマンガを読む児童の割合が高かったです。「本を読む」と回答した割合は、小学生で29%、中学生で23%でした。

(3) アンケート調査結果から

中井町の子どもは比較的小さい頃から保護者が読み聞かせをしていた傾向があり、その影響からか本が好きな子どもが多いという結果になりました。

また、「ご家庭では、お子さんの身近なところに本が置いてありますか」という設問に対して「本を置いてある」と回答したのは、小学生の保護者は98%、中学生の保護者は85%と高い傾向にあります。このことから家庭での読書環境を重要と感じていることが分かりました。

全国的にも読書の習慣は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にありますが、「あなたは本を読むことが好きですか」という設問に対して、中井町の小学生は92%、中学生は84%と多くの児童・生徒が読書好きであると回答しています。また、「あなた（保護者）のお子さんは、本（読書）が好きだと思いますか」という設問に対して、小学生の保護者は84%、中学生の保護者は68%と児童・生徒と比較すると割合は低いものの同様の結果が見られました。つまり、多くの児童・生徒、保護者が読書をすることにに対して積極的な姿勢があると伺えます。「どうしても多くの方が本を読むようになると思いませんか」という設問に対しても、小学生は「学校で決まった読書の時間がある」と回答したのが51%、中学生は「小さいころから図書室や本屋などに行く」と回答したのが46%となっており、学校での環境整備、自分から積極的に本に触れる姿勢が大切だと考えていることが分かります。

しかし、「家庭での自由時間に、お子さんは何をすることが多いですか」という設問に対して、「本を読む」という回答が小学生は29%、中学生は23%と家庭で進んで読書をしていないと言えます。また、他の回答として「テレビ（ビデオ）や動画を見る」が小学生の保護者は83%、中学生の保護者は80%と一番多い回答となりました。その次に、小学生の保護者では、「ゲーム機で遊ぶ」が75%、中学生の保護者では、「インターネットやスマートフォンなどを利用する（動画以外）」が70%とそれぞれ2番目に多い回答となりました。

読書好きが多い傾向にある一方で、児童・生徒の読書の習慣が定着していないという結果が見られました。「あなたは1か月に何冊くらい本を読みますか」という設問に対しても、「1~2冊」が一番多く、小学生は31%、中学生は29%でした。また、「0冊だった人に聞きます。本を読まなかったのはどうしてですか?」という設問に対して、小学生は「読みたい本がない」、「本を読むことが苦手、嫌い」が一番多く、中学生は「読みたい本がない」が一番多い結果となりました。これは、読みたい本が身近にないことから、テレビや動画を見ることやゲームやスマートフォンを使用することに楽しさを見出していると思われる。

乳幼児期から学童期の間に着させた読書の習慣を維持し続けるためには、家庭だけでなく、学校や図書室など町全体で子どもたちが「読みたくなる」本の選書をし、いつでも好きな本を手にするができる環境を整えていくことが大切だと言えます。

資料 2. 用語解説

用語	内容
読書活動推進員	町施設等の図書室の充実を図るため、図書業務に従事する職員。
読み聞かせボランティア	1～6年生を対象に、表現豊かな読み聞かせを実施している。さまざまなジャンルの本に出会い、読書活動への興味・関心をもつきっかけを作り出す役割を担っている。
図書整理ボランティア	書架の整理整頓のほか、児童が季節を感じながら本に親しめる環境整備の役割を担っている。
ブックスタート事業	7か月児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動のこと。赤ちゃんの幸せを願い、行政と町民が協働する自治体の事業として、全国で行われている。
アドバイスブックレット	ブックスタート事業で、絵本と一緒にプレゼントされている冊子のこと。
ビブリオバトル	参加者同士で自分の気に入った本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う書評ゲーム。発表参加者が一人5分間で1冊の本を紹介し、全ての発表が終わった後どの本が読みたくなったかを、参加者全員で投票を行って勝者を決める活動。ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができる。
本のかしだし福袋	普段自分では選ばないような本との出会いや発見、「福袋」形式で貸し出す楽しさで読書をより身近なものに感じてもらう取り組み。
子ども読書の日	公益財団法人読書推進運動協議会が定めた子どもが読書活動を積極的に行うための事業が集中して行われる日。4月23日。
読書週間	読書の普及を目的として、講演会、展示会、お話し会、ポスターの作成など、読書に関連する行事を集中させた期間。自治体、学校、図書館などが個別に実施している。10月27日から11月9日までの2週間。
学校図書館図書標準	平成5年3月に公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として定められた基準。
日本十進分類法	明治9年にアメリカのM.デューイにより発表された図書分類法。あらゆる知識を哲学、宗教、社会科学、語学、自然科学、応用科学、美術、文学、歴史および総記の10類に大別、各類をさらに10綱に、各綱をさらに10目にというように無限に展開できる仕組みとなっている。

ちょうどいい ちょつどいい



さと
里都まち ♥ なかい

第二次中井町子ども読書活動推進計画

発行 中井町教育委員会
発行日 令和6年3月
編集 中井町教育委員会生涯学習課
〒259-0197
神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56
Tel 0465-81-3907